



# バンコク便り



## 1. はじめに

タイでは、例年に比べ猛暑日が続いており、雨期入りも遅れていることから、水不足の懸念も出てきています。特に対北部の降雨量が不足しているらしく、タイのプラユット首相が稲作農家に対し作付けを減らすか止めるよう呼びかけを行う事態にもなっています。

## 2 ビジネス情報

### (1) タイの付加価値税 (VAT) 現行据置を示唆

タイ財務省大臣が今月3日、今年9月末に期限を迎える付加価値税 (VAT) について、現在の景気動向を勘案し更に1年間の据置を行う考えを示しました。付加価値税は法律では10%と定められていますが、国民生活への影響を理由に現行7%に減税した形での運用が続いています。

### (2) 高架鉄道 BTS (スカイトレイン) の回数券が7月1日より値上げ

バンコク中心部を走行するBTSの回数券が7月1日より値上げとなります。一般向けで45~150バーツ程度、学生向けで30~100バーツ程度の値上げとなる予定です。BTSは現在も延伸工事が続いており、利用者も増加傾向にあることから、今後も運賃改定が行われる事が予想されます。

### (3) タイ上場企業会社カンクン・エンジニアリングが仙台市の太陽光発電に約130億円投資

時事通信バンコクで仙台市の太陽光発電にタイ上場企業が投資するという記事が掲載されました。記事によると、カンクン・エンジニアリングは東北電力と20年間の供給契約を締結する予定で、1キロワット当たり3.6円で供給。発電所は2017年稼働予定との事です。同社は電力システムなどが主力事業ですが、最近では再生可能エネルギーに積極投資しており、タイ国内では東北部で出力60MWの風力発電所を計画している企業の買収も同時期に発表しています。

## 3. バンコクものづくり商談会開催

6月24日~27日の期間で、「バンコクものづくり商談会」が製造業の見本市「マニュファクチュアリング・エキスポ」との併催で、バンコクのイベント施設「バンコク・インターナショナル・トレード&エキシビジョン・センター (通称: BITEC) にて開催されました。新聞報道によると今年で2回目となる本商談会は、出展企業は207社で来場者数は約1万人に上り、商談件数3,656件、販売見込額3億2,800万バーツ (約12億円) と昨年を上回る盛況ぶりだったようです。※1バーツ=3.75円で算出



## 4. 山形県企業振興公社主催海外ビジネスミッション

6月29日~7月3日の日程で県企業振興公社主催のタイ・ミャンマービジネスミッションが開催され、県内及び宮城、福島県の製造業者13社の他東北経済産業局や県保証協会等総勢24名が参加。内タイにおけるミッションは7月1日~2日の正味1日でしたが、日系及びタイローカルの製造業者6社を訪問。同じ製造業として製造品質の維持や技術の育成、また海外におけるメリットやデメリット等積極的な情報交換が行われ、参加された企業の方々も大いに刺激を受け、非常に有意義なミッションとなりました。



タイローカル企業視察訪問



日系企業視察訪問



日系企業視察訪問

【本件に関する連絡先】

海外業務部 石井、軽部 023-626-9050

バンコク駐在 (カシコン銀行ジャパンデスクトレーニー) 山岡 +66-(0)9-2249-1176